

レンタルで時代を拓く

AKTIO

AKTIO

May
No.17

Communication Magazine

| 特集

小沼直人社長にインタビュー

テクノパークの進化、
レンタル®の未来。

AKTIO NETWORK

機動力とネットワークで
地元へ情熱と誠意を届ける!

Vol.4 株式会社東海大阪レンタル

AKTIO TOPICS

高層建造物の維持補修に最適な足場を!

画期的な次世代ワークプラットフォーム
「スカンクライマーSC8000」が新登場!

AKTIO公式サイトが増えました!

「レンタルマガジン」
「アクティオノート」を新設!

テクノパークが

未来を創る

テクノパークの進化には BCP対策の推進が不可欠

—— 昨年は、完成したばかりの関西テクノパークを含め、全国7か所でレンサルティングフェアを開催するなど、AKTIOにとっては飛躍の年だったのではないのでしょうか。

小沼 そうですね。お客様はもちろん地域の皆様にも、AKTIOへの認知を高めていただくことのできた有意義な1年でした。「レンタル会社がここまでやっているとは思いませんでした」というお声もいただき、もっとこういう機会をつくらなくてはと思い強くした次第です。しかし一方で、2018年は日本列島が多くの災害に見舞われた年でもありません。6月には大阪府北部地震、7月には九州から四国・中国地方を豪雨が襲い、9月には北海道胆振東部地震が起こりました。特に北海道では、これから寒くなるという時期に発電所が停止し、道内全域が停電してしまつたのです。

われわれはまず、電気のニーズを満たすことを最優先に、道内の電気復旧へ向けた発電機補填などを行いました。また、広島地区の豪雨では、新しくできた関西テクノパークが、復旧へ向けた機器供給のための基地としても活躍してくれました。

—— テクノパークは、レンサルティングの拠点のみならず、地域の防災拠点としての役割も担っているのですか。

小沼 「現場を止めるな」が私の信念です。どんなに多くの機械を揃えていても、いざという時に動かさないのでは何の役にも立ちません。ですから、不慮の自然災害や停電などの緊急時に業務がストップし

てしまうことを防ぐBCP (Business Continuity Plan)対策が不可欠なのです。とはいえ、300を超えるAKTIOの全営業所ですぐに対策を講じることは難しいので、まずはテクノパークで着実にBCP対策を推し進め、付加価値をさらに高めていこうと考えています。

これまでの整備工場のイメージを変えた試み

—— そもそもテクノパークが誕生したきっかけは？

小沼 整備工場といえば3Kの代表格だと思われていた時代、「自然あふれる良い環境で仕事をしてほしい」という会長の思いからテクノパークが生まれました。会長は、最先端の整備技術を取り入れた大規模な拠点をつくるにあたり、まずは労働環境を改善しようと考えたのです。

—— 皆さんが生き生きと仕事に取り組める快適な環境づくりは、私にとっても大きなテーマのひとつです。

—— そして今、「これからの50年を創出する拠点」としてますます大きな役割を担っています。

小沼 テクノパークは、ただの大きな工場ではありません。機能を備えた機械をお客様に貸し出すだけでなく、知識やノウハウも提供できる場として、ますます進化させたいですね。

—— そのためには人材育成も欠かせませんね。

小沼 AKTIOには全国に支店があり、われわれは水中ポンプの修理からスタートし、それを貸すことから建設業のフィールドに入って機種をどんどん増やしてきました。そんな中で、建設に使うトラックは造園にも使える、といった具合にジャンルを拡大していったわけです。

新しいフィールドは、われわれにまだ見えていないだけで、必ず存在しているはず。ヒントは、お客様と接する日々の仕事の中にあると思います。さまざまな課題を前向きにとらえ、チャレンジを続けられれば、きっと新しい世界が開けると確信しております。

—— 本日は貴重なお話をありがとうございました。



株式会社アクティオ 代表取締役社長

小沼 直人 Naohito Konuma

こぬま・なおひと / 1966(昭和41)年8月15日東京生まれ。1992(平成4)年4月 株式会社アクティオ入社。その後、豊田自動織機への出向などを経て本社へ。2004(平成16)年3月取締役副社長就任。2007(平成19)年1月より業務本部長を兼任し、テクノパークの担当役員に。2017(平成29)年5月代表取締役社長兼COO就任。

課題に直面してストレスと感じるか、面白いと感じるか。そこで前に一歩踏み出せば、新しい世界が開けると信じています。

テクノパークの進化、レンサルティング®の未来。



02

Chiba Technopark

千葉テクノパーク統括工場
機械と一緒に、安心も届けたい。

首都圏を中心に北海道や九州へも機械を出荷する重要な拠点、千葉テクノパーク統括工場。リフト統括事業部をはじめパワーシステム事業部など専門性の高い事業部が所属し、高品質な機械を提供するべく緻密な検査・整備・修理を行っています。

AKTIO 最大規模の工場建屋を持ち、室内系高所作業車は1,800台を収容できる上、1,600パレットを収容できる大型自動ラック倉庫も併設し、シーズン品では最大28,800台もの収納が可能となっています。

千葉テクノパーク統括工場では、保有する大型機器や立地を生かし、災害時にはライフラインの問題を一刻も早く解決する万全の準備を行っています。2011年の東日本大震災では大型発電機の出庫拠点となり、海外から発電機の受け入れも行い、東北地区各所へ迅速な出荷をしました。また、病院の非常用発電機が故障した際に緊急出荷したり、放送局・電話局等でも機器の緊急出庫をしたりと、日常の緊急時においてもライフラインを守っています。

先日、地元の小学校2校の児童を対象に大型建設重機操縦体験会を開催しました。社員・作業員の立会いのもと、高所作業車などに乗って機械を動かしてもらい、私たちの仕事を身近に感じてもらいました。このような体験会などを通じて、周辺地域をはじめとするあらゆる場所で「安心と便利を届けるAKTIO」というイメージを強くしていきたいですね。



千葉
テクノパーク統括工場

統括工場長 富澤 忠広



01

Sano Technopark

佐野テクノパーク統括工場
お客様のために、環境のために、できることをする。

2000年12月、AKTIO 初のテクノパークとして設立された、佐野テクノパーク統括工場。創業の起点となった水中ポンプを整備している水中ポンプ広域センター、日々、レンタルティン®を実践しているエンジニアリング事業部、北関東の建機をカバーする北関東テクノパーク工場と3部署から構成されており、機械によるアクティオの体系縮図が見られる工場です。必要な時に必要な台数が提供できるよう洗浄や塗装は6軸ロボットによる自動化を最初に取り入れ、水中ポンプや仮設足場でも一度使用すると整備・検査を行い、供給と品質の向上を図っています。

また環境への配慮にも力を入れており、環境パフォーマンスを向上させるための規格「ISO 14001 環境マネジメントシステム認証」を総合建設機械レンタル業界で初めて取得しました。太陽光発電や雨水利用の設備はもとより、環境負荷低減を業務目標に結びつけ、品質や整備に置き換えることで、クレームが減り、結果無駄なエネルギーや運送燃料の低減につなげています。

近年の多様化するニーズに対応するため、頻繁に来場されるお客様の研修や見学で情報を収集したり、現場での意見をもとに機器開発ができるよう、工場に設計室と3DCADを設置して工場内で製作が出来るようになっています。2011年の東日本大震災では復興支援の特殊機器をここで製作、検証し、現地に届けました。

お客様のために何が出来るか、工場の立場からレンタルティン®を実現するため、これからも新しい発想でチャレンジしつづけていきたいですね。



佐野
テクノパーク統括工場

統括工場長 林 豊

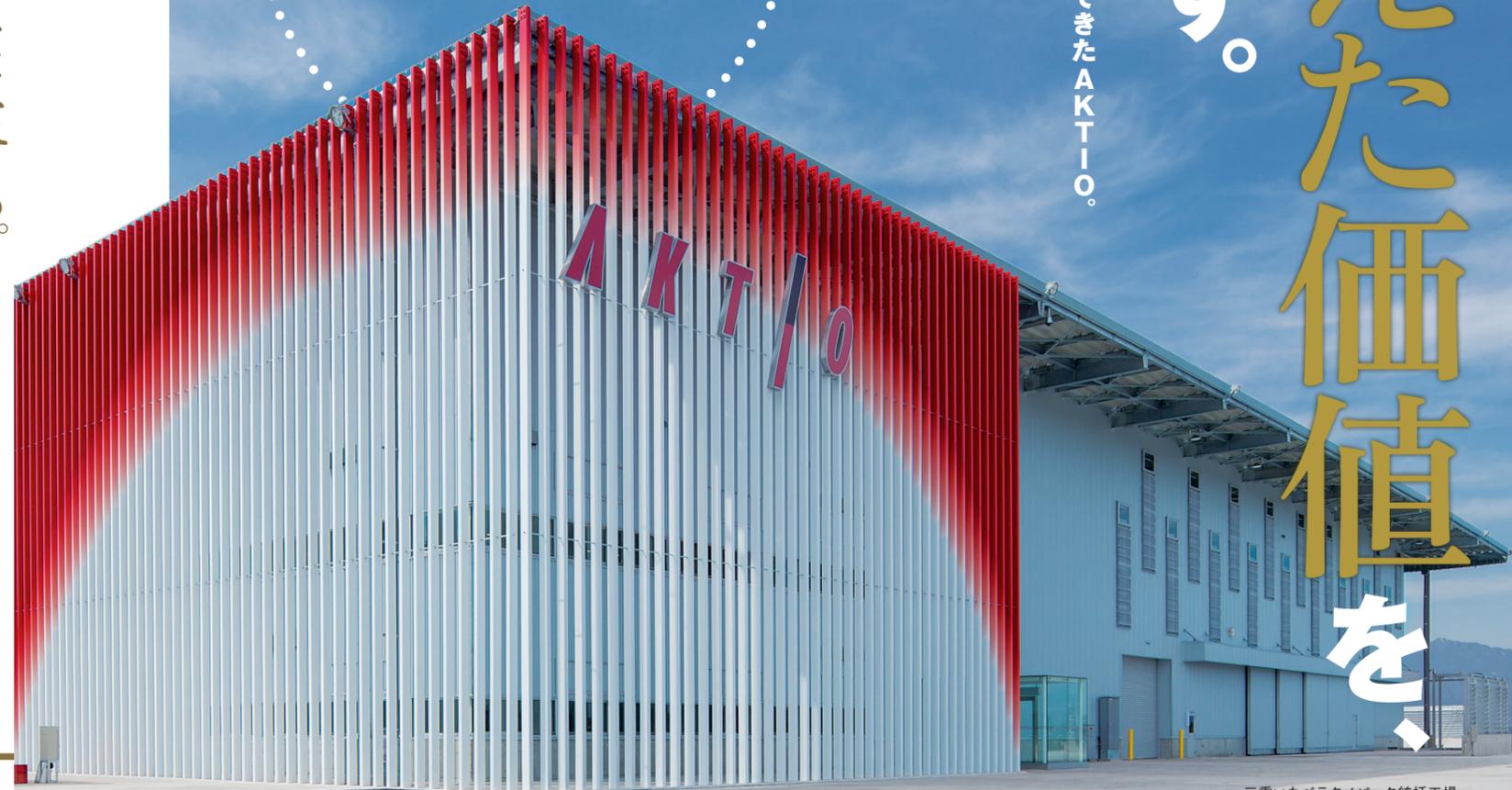


テクノパークとは

- 万全の品揃えと整備体制
- レンタルティン®の向上を支える拠点
- 最短時間で送り出すネットワーク拠点
- 地域社会とのつながりや防災拠点

常に時代のニーズを先読みし、提案型レンタルティン®を実現してきたAKTIO。各工場ネットワークの主要拠点であるテクノパークでは、世の中に価値を提供するため、どんなことが行われているのか。

レンタルを超えた価値を、世の中に送り出す。



三重いなベテクノパーク統括工場

テクノパーク概要

佐野テクノパーク統括工場

- 住所
〒323-1106 栃木県栃木市藤岡町都賀1353
- 建物概要
敷地面積/61,825.9㎡ 建築面積/4,889.5㎡ 延べ面積/6,245.6㎡
- 太陽光発電
定格出力/175kW(総合整備棟) 11kW(水中ポンプ工場棟)
- 主要設備
・橋形クレーン/7基(15t×4 10t×2 5t×1)
・天井クレーン/17基(10t×2 7.5t×2 5t×1 4.8t×2 2.8t×6 1t×4)
・塗装ブース/別棟1棟 工場内5(内自動塗装ロボット×1)
・特定危険物倉庫/1棟 少量危険物倉庫/2棟
・屋外洗車場/7 重機自動洗車場/1 屋内洗車場/4(内自動高圧洗浄ロボット×2、把持ロボット×1)
・負圧ルーム/1 設計室/3DCAD×4

千葉テクノパーク統括工場

- 住所
〒289-1306 千葉県山武市白幡2015-1
- 建物概要
総敷地面積/68,324.650㎡(A敷地47,769.900㎡ B敷地17,431.210㎡ C敷地3,123.540㎡)
建築面積/4,021.66㎡
- 主要設備
・橋形クレーン/2基(15t×2)
・天井クレーン/11基(5t×1 2.8t×7 1.5t×1 1.0t×2)
・フォークリフト/10台(4t×1 3.5t×2 2.5t×3 2t×1 1.5t×1 0.9t×2)
・塗装ブース/別棟1棟 工場内2
・発電機負荷試験装置/1基
・エアータンク/3基
・自動ラック/2基
・少量危険物倉庫/6棟
・自動洗車機/1基

三重いなべテクノパーク統括工場

- 住所
〒511-0224 三重県いなべ市員弁町大字大泉字藤谷2178-8
- 建物概要
敷地面積/78,548.24㎡ 建築面積/9,420.45㎡ 延べ面積/9,633.27㎡
- 太陽光発電
定格出力/500kW(整備棟) 20kW(建材棟)
- 主要設備
・橋形クレーン/8基(20t×1 15t×4 7.5t×1 5t×1 2.8t×1)
・天井クレーン/14基(15t×3 10t×1 5t×4 2.8t×6)
・フォークリフト/12台(10t×1 4.5t×1 3.5t×3 3t×1 2.5t×1 2t×1 1.8t×1 1.5t×1 0.9t×1 0.5t×1)
・塗装ブース/別棟4棟 工場内3(内自動塗装ロボット×1)
・少量危険物倉庫/5棟
・屋外洗車場/10 自動洗車場/1 洗浄用プール/1
・屋内洗車場/4

関西テクノパーク統括工場

- 住所
〒673-0514 兵庫県三木市志染町戸田1838-259
- 建物概要
敷地面積/40,007.15㎡(12,121坪) 建築面積/12,068.27㎡(3650坪)
- 主要設備
・橋形クレーン/2基(15t×1 4.8t×1)
・天井クレーン/1基(2.8t×1)
・フォークリフト/7台(0.9t×4 1.5t×2 4t×1)
・垂直式昇降リフト装置/2基(5t×2)
・塗装ブース/小型5 大型1 (内自動塗装ロボット×2)
・建材用自動洗浄室/2
・自動ロボット/6(ケレン清掃用×2 塗装用×2 建材洗浄用×1 建材把持用×1)
・建材荷役装置/2
・少量危険物倉庫/2棟
・屋内洗車場/1 屋外重機用自動洗浄機/1基 屋外洗車場/1

九州テクノパーク工場

- 住所
〒833-0005 福岡県筑後市大字長浜426-10
- 建物概要
敷地面積/33,150.79㎡ 建築面積/3061.55㎡ 延べ面積/3,673.67㎡
- 主要設備
・橋形クレーン/2基(15t×2)
・天井クレーン/8基(10t×1 7.5t×1 4.8t×1 1.0t×2 0.24t×1 0.12t×2)
・フォークリフト/8台(4.5t×1 3.5t×1 2.5t×2 1.5t×4)
・塗装ブース/別棟1棟 工場内2
・粉塵ブース/3基
・ポンプ試験機/1基
・ショットプラスト/1基
・移動ラック/1基
・少量危険物倉庫/2棟
・給油所/1施設
・屋外洗車場/5(自動洗車機×1)



05

Kyushu Technopark

九州テクノパーク工場
最高のサービスのために、できることを考えぬく。

九州にあるAKTIO各営業所で使用された製品を収集し、整備・メンテナンスを引き受ける整備工場として2016年4月に設立されました。お客様が安心安全に使用できるよう、小物から重機までの多種多様な機械を心を込めて整備しています。また、機械の全国運用やコンディション管理など、機械の総合管理も担っています。いわば、機械の世界における“プロフェッショナルの集合工場”です。

冷静な判断力を要する九州テクノパーク工場では、整理・整頓・清掃・清潔・躰の「5S」を掲げています。単にきれいで清潔な工場というだけではなく、5Sの根本には“所員が気持ちよく働けてこそ、最高のサービスを提供できる”という考えがあります。私たちが向き合うものは機械ですが、その先にはお客様がいます。お客様の“困った話”を聞いたら、たとえそれを解決できる機械が今はこの世に存在しなくても、長年のノウハウを生かして具現化することが私たちの強みです。

2016年に発生した熊本地震の際は、機械調達の要望に瞬時に応えたい一心から、竣工前の九州テクノパーク工場に全国から集められた重機や発電機などを受け入れ、被災地へ運び込むことができました。困っている人がいる限り、私たちはとことん力を尽くします。私たちの強みであるネットワークを活用すれば、必要とされるものをどこへでも届けられるのではないのでしょうか。



九州
テクノパーク工場

工場長 家成 秀明



04

Kansai Technopark

関西テクノパーク統括工場
品質とスピード感は、ゆずれないポリシー。

2017年12月、関西最大級の整備工場として完成した、関西テクノパーク統括工場。兵庫県三木東インターから車でおよそ10分の立地でアクセスが優れており、関西圏の各営業所・工場との緊密な連携が可能となりました。

メインで取り扱っているのは、建設現場での需要が高い室内系高所作業車です。メーカーの定める基準をもとに工場内で厳しい整備基準を設け、高品質の機械を生産できるよう目を光らせています。また品質だけでなく、いかに効率的に生産できるかも常に意識していることです。例えば、従来手作業で行っていた機械の汚れ落としをロボットによる清掃装置に替え仮設足場材の整備エリアではロボット式アームを導入するなど、女性や高齢者の作業負担を軽減するだけでなく、少ないスタッフで効率的な業務を行える環境をつくるために、オートメーション化を積極的に取り入れています。

機械のレンタルは、万が一の災害発生時にも重要な役割を果たしています。2018年の台風21号による被害の際には、夜間、スーパーマーケットの商品倉庫に大型発電機を緊急出庫しました。また広島豪雨災害の際には、被災地へ納入する機械の中継地としての役割を担いました。いざという時こそ、スピード感を求められるこの仕事ですが、品質もしっかりと守らなくてはいけない。どちらも絶対にゆずれないポリシーですね。



関西
テクノパーク統括工場

統括工場長代理 小林 裕嗣



03

Mie inabe Technopark

三重いなべテクノパーク統括工場
目標は、世界一のレンタル会社。

全国に約50ある工場の中で最大の敷地面積を誇る、三重いなべテクノパーク統括工場。愛知・岐阜・三重の東海3県において中心的な位置にあり、高速道路などの交通基盤も整っていることから、“災害に強い拠点”として有事の際にもスピーディに機械を供給できるように設立されました。BCP機能®は非常に優れており、自家給油所や非常用電源供給などインフラ供給が停止しても工場機能が停止しない設備を備えています。東京ドーム1.7個分の敷地面積の中には、イベントスペース・トレーニングフィールドを設け、単なる機材の供給にとどまらない“レンタルティング®”を具現化しています。主な事業内容は、西日本の基幹工場としての役割や、中型以下の水中ポンプのレンタル拠点としての役割を果たすことですが、あらゆるニーズに応えるためにトレーニングフィールドで機械の研究開発や、実証実験、社員教育を行っています。

当工場はいなべ市から、災害時の防災拠点としての役割も期待されています。IoT化と同時にダイバーシティにも力を入れ、多様化するニーズにいち早く応えられる職場づくりに努めています。これからも周辺地域との関係性を大切にしながら、皆様に必要とされる工場を、そして世界一のレンタル会社を本気で目指します。たとえ笑われても、貪欲に取り組むことが結果的に私たちの発展になると信じていますから。

※BCP:Business Continuity Planの略。事業継続計画。災害発生時に短期間で重要な機能を再開し、事業を継続するための準備をしておく対応方針



三重いなべ
テクノパーク統括工場

統括工場長 長尾 勝徳

レンタルディング®で未来を築く AKTIO グループ企業の紹介

「挑戦する気持ち」を大切に
チャレンジできる環境づくり

東海大阪レンタルが、「地元密着」とともに大切にしているのが、ペテラン・中堅・若手を問わず、誰もが「チャレンジできる環境づくり」である。社員間のコミュニケーションを大切にし、風通しを良くすることで若い社員にも自分なりに考え、さまざまなことにチャレンジする機会を与えるのが同社の社風であり、企業方針だ。実際、東海・関西地区に展開している営業所の中では、30代の若手所長も活躍しているという。

こうした環境の中から生まれるのが、地元のお客様のための新しい提案であり、これまでになかった新しい商品なのだ。

また、「地元のために、良かれと思つたことはためらわずに実行する」のが信条の同社では、地域の海岸清掃などのボランティア活動にも積極的に参加。さらに、各市町村と災害協定を結び、災害復興にも協力している。

2025年には大阪で半世紀ぶりに万博が開催される。さまざまな施設の建設やインフラの整備など、ますます活況を呈する地元とともに、東海大阪レンタルも今後、一層の成長と活躍を見せてくれることだろう。

AKTIO NETWORK Vol.4 TOKAI OSAKA RENTAL CO.,LTD

株式会社東海大阪レンタル

誰もが失敗を恐れず
「チャレンジできる環境」が自慢
機動力とネットワークで地元へ情熱と誠意を届ける！

東海大阪レンタルは、その社名の通り、東海・関西地域を拠点に「地元密着型」の総合レンタル事業を展開している。モットーは、事業を通じて「地域のお客様のために貢献すること」。

2025年には、地元大阪での万博開催も決まった。地元とともに歩む東海大阪レンタルの活躍の場は、これからますます広がりそうだ。



To Challenge! 「挑戦する気持ち」をカタチに! 東海大阪レンタルのチャレンジ

Challenge 1 商品開発 オリジナル商品「グラトラ®」を開発

グラップルで集めた枝葉や切端材をそのまま運搬できる機械があったら、建築現場だけでなく、災害復旧時にも活躍してくれるはず…。地元からのそんな声に応え、東海大阪レンタルでは、「A材搬送」「バイオ材搬送」「クレーン仕様」の1台3役を兼ね備えたグラップル付トラック「グラトラ®」(3t/4WD)を日野自動車と共同開発。作業の効率化・省力化とともに大幅なコストダウンを実現した。



Challenge 2 社内制度 「提案制度キャンペーン」を実施

社員からのすべての提案を各担当が検討。社員の発案による「仕入先マップ」はさっそく社内でも運用が開始された。



Challenge 3 資格・教育 資格取得報奨金制度を整備

通信教育合格者には受講費用を負担。個人のスキルアップをしっかりサポート。

取扱製品一覧

- 水中ポンプ・水処理機械
- 発電・溶接・照明機械
- コンプレッサ・エア機械
- ハウス・備品
- 通信計測機器
- 環境関連機器
- 掘削・整地・運搬・道路
- レンタカー・車両機械
- 高所作業車・作業足場・建築機器
- 荷役・揚重機械
- コンクリート機器
- 汎用機器
- プラント関連機器
- 基礎・地盤改良機
- 電気設備
- シールド・推進機械
- 特定現場仕様

ニーズに合わせて、お客様のために 東海大阪レンタルの取扱製品



スタトラ



切株切削機アタッチメント (TO グラインダー)



根切りバケット



スタダン



TORバケット



株式会社東海大阪レンタル 概要

本社 大阪府茨木市目垣2丁目34番地21号
 営業所 大阪府、兵庫県、奈良県、愛知県、
 岐阜県、三重県、滋賀県、京都府
 センター 奈良センター、奈良重機センター、
 兵庫センター、滋賀センター
 設立 2015年1月
 資本金 8,000万円
 年商 88億円 (2018年12月実績)
 従業員 230名 (2019年4月現在)

地域密着型だからこそこの
提案と対応で地元へ貢献

大阪府茨木市に拠点を置く東海大阪レンタルは、2015年にAKTIOグループの一員として誕生した若い会社である。

東海・関西地区をメインに建設機械、産業機械器具、電気機械器具、輸送機械器具、農業機械器具など、さまざまな作業機器・重機のリース・レンタルを行うほか、修理や販売にも対応。顧客のニーズに寄り添ったプロジェクトの推進などにも活動の場を広げつつある。

同社の強みは、前身である大阪レンタル株式会社や東海レンタル株式会社の時代から、長い時間を

かけて培ってきた地元との信頼関係だ。キーワードは「地元密着」。地場で吸い上げた「生きた情報」からお客様のニーズをくみとり、地域密着だからこそできる方法・対応で他社に負けない提案を行う。その上で、最終的には地元へ喜ばれる成果を出すことが目標だ。

これに加え、アクティオグループとしてのシナジーを活用し、情報やノウハウを共有することも大きな武器となっている。若い社員の多い会社だけに「自社だけではできない提案が可能になる」とは大きなモチベーションだ。最近では、お客様の声に応じて新しい商品を開発するなど、技術力にも磨きがかかってきた。

画期的な次世代ワークプラットフォーム 「スカンクライマー SC8000」のレンタルを開始!

AKTIOはこのたび、スカンクライマー社(フィンランド)製のワークプラットフォーム「スカンクライマー SC8000」のレンタルを開始した。

「スカンクライマー SC8000」は、スネーク仕様やフルシンク仕様、ツインマスト仕様など、使用構造物や作業環境に応じてさまざまに形状を変える次世代型の移動昇降式足場(最大設置高150m)。簡単な操作で作業床を変更できるため、これまで対応が難しかった対象物にも容易にアプローチが可能

となる。各パーツの組立、施工、解体も簡単で、従来の足場組立よりも大幅に資材量が削減でき、工期の短縮も実現。さらに、マストには超強度鋼を使用し、安全ブレーキとしてガバナブレーキを標準装備するなど、安全面にも配慮。今後、高速道路・鉄道の橋脚点検や鉄塔・高層煙突の補修工事、高層ビルの外壁メンテナンスなど、高層構造物の維持補修に幅広く利用が見込まれる。



ツインマスト仕様

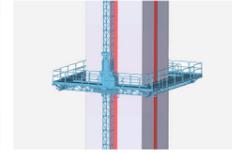


基本ユニット(シングルマスト)

対象に応じ、最適な足場を提供



煙突の解体/補修



橋脚の点検/補修



高層階の建設/改修

AKTIO 公式サイトを新設!

AKTIOは、より多くの方々にAKTIOを知っていただくため、従来からの企業公式サイトに加え、ターゲットの異なる2サイトを新設。これらのサイトを通じて様々な情報を配信していく。

RENSULTING MAGAZINE

レンサルティングマガジン

ビジネスマンや学生に向け、AKTIOのレンサルティングを理解していただくための情報を発信。

▶ <https://magazine.aktio.co.jp>

Aktio Note

アクティオノート

日常の工夫からアートまで「創造のためのヒント」を発信。広く一般の方にAKTIOの魅力を伝える。

▶ <https://note.aktio.co.jp>

AKTIOが賛同するさまざまなプロジェクトや社会貢献活動を紹介していきます。



今年度のテーマは「備える」。災害時の被害を最小限に抑える「備え」から防災について考える。

災害の教訓を忘れることなく、未来に備えを
日本赤十字社主催の防災・
減災プロジェクト
AKTIOでは、昨年に続き日本赤十字社主催の「未来へつなげる防災・減災プロジェクト」私たちは、忘れないうちにパートナー企業として参加。3月1日〜4月30日の期間中、全事業所でポスターの掲示、リーフレットの配布を行い、防災・減災への意識向上に努めた。東日本大震災から5年を機にスタートした同プロジェクトは、今も被災地で苦しむ人々に思いを寄せるとともに、災害から得られた教訓や経験を未来へ引き継ぎ、起こりうる災害への対応力を高めていくことを目的としている。

大健闘!「第12回ママチャリ日本グランプリ チーム対抗7時間耐久ママチャリ世界選手権」に参戦!

モータースポーツの聖地、富士スピードウェイを舞台に、非力なママチャリがサーキットを駆ける「ママチャリ日本グランプリ」をご存じだろうか。全長約4.5km、コース最大幅25mの広大なサーキットコースを使い、最大10名のチーム内で交代しながら7時間を走り抜く、今やお正月恒例となった自転車レースである。

AKTIOは去る1月12日、「第12回ママチャリ日本GP チーム対抗7時間耐久ママチャリ世界選手権」に出場した。今大会の参加者は総数約1万7900人。前夜に大集結した参加者たちの熱気は明け方まで冷めやらず、そのまま午前8時の出走時刻を迎えて総勢851台によるレースがスタート。1月開催とあって「寒い、キツイ、辛い」は当たり前。それでも気温4°Cの曇り空の下、参加者たちは各チーム趣向を凝らした装いで、記憶に刻まれる白熱のレースを繰り広げた。

AKTIOグループからは、開催地である静岡と首都圏からの参加者を中心に、「のぞみ」「ひかり」「こだま」「チームSRS」の4チーム(約70名)が出走。「チームアクティオのぞみ」が58位と大健闘した。レース後には、プロのレーサーによるレーシングカーのデモ走行を見学してサーキットの魅力を堪能。来年も参加者全員ケガをすることなく、今年の順位をひとつでも上回ることを目標に、出場を予定している。



SUPER GTや世界耐久レースでおなじみの富士スピードウェイを舞台に、非力なママチャリがサーキットを爆走!



AKTIOグループからは4チーム約70名が参加。本格的なレース用サーキットでの走りを満喫した



会場には富士スピードウェイの年間スポンサーである「AKTIO」の看板も

AKTIO PEOPLE 輝け! AKTIO人

部下の活躍をお客様に感謝されたり、褒めて頂いた時が一番嬉しい瞬間です。

——池田支店長は、ママチャリGP参加の立役者だとか。
池田 弊社のお得意様にたまたまママチャリGPが好きな方がいらして、お誘いをいただいたのが参加のきっかけです。AKTIOも自転車をレンタルしていますし、これも何かの縁かと。今回で2度目の参加になりますが、体を動かす楽しさはもちろん、チームとして走り切ったという達成感も味わえますし、参加して良かったと思っています。

——北関東支店長として7年が経過しましたが、今後の目標と、仕事の上で大切にしていることを教えてください。
池田 近々の目標は、支店としての今期事業計画を達成すること。大切にしているのは「決めたことを守る」ことです。基本的ですが、重要なことだと思います。

——レースを走り切ることに通じますね。では、一番うれしい瞬間は?

池田 私自身、営業マンが長かったこともあり、今でも時間があればなるべく営業マンと同行営業をしているのですが、対応であったりとか、機械の品質であったり部下の活躍をお客様に感謝されたり、褒めて頂いた時が一番嬉しい瞬間です。社員には、常にAKTIOの一員であることに誇りを持ち、お客様の立場に立ってモノを考え、お客様から好かれるような社員になってもらいたいですね。

——ありがとうございました。来年のママチャリGPにも期待しています!



北関東支店 支店長

池田 嘉統さん

岡山県出身。1993年4月入社。城西ブロック長、東京支店営業次長などを経て2012年、北関東支店支店長就任。2013年4月より新友会会長。

平成31年度 アクティオホールディングス 新年賀会を開催

去る1月11日、東京都千代田区の日本工業倶楽部にて平成31年度アクティオホールディングス新年賀会が開催された。メーカー、商社などのお客様や関係者、約200名が参加。冒頭、小沼光雄社長は平成の歩みを振り返った上で「今年は元号が変わる節目の年。新製品への投資にも積極的に取り組み、皆様の力をいただいても成長したい」と抱負を語り、来賓挨拶では多田野宏一タダノ代表取締役社長が「世界のレンタル会社を目指してほしい」と挨拶。さらなる発展を祈念して乾杯を行った。



挨拶するアクティオホールディングス小沼光雄社長



今日も ごあんぜんに

みんなを守る、みんなの安全

+ 今回のテーマ 春の全国交通安全運動

日頃の安全対策に役立つ情報をご紹介します！
一人ひとりがしっかりと意識をもって
安全な職場を実現していきましょう。

2019年 春の全国交通安全運動が実施されます！

交通事故・交通違反をなくしましょう！

実施期間：2019年5月11日(土)～20日(月)
交通事故死ゼロを目指す日：5月20日(月)

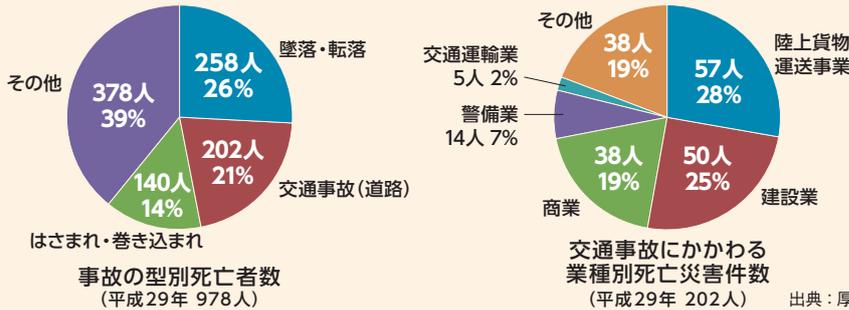
5月11日(土)から20日(月)までの10日間は「春の全国交通安全運動」の実施期間です。この運動の目的は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図りましょう。

建設業の現場でも交通ルールを守り、交通労働災害の予防を心がけましょう。交通労働災害は、労働者による死亡災害全体の約2割を占めており、そのうち6割以上が運輸交通業以外で発生しています。トラックなどの運転業務に従事するドライバーだけでなく、すべての事業者、従業員が一体となって安全対策を徹底することが大切です。



内閣府・警察庁が配布しているポスター。職場に掲示し、事故抑止につなげましょう。

交通労働災害の現状



出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

交通ヒヤリハットマップを作成して安全情報を共有しましょう！

+ 交通労働災害防止のためのガイドライン

☑ 適正な労働時間等管理、走行管理

- ・走行の開始・終了や経路についての計画を作成する。
- ・早朝時間帯の走行を可能な限り避け、十分な休憩時間、仮眠時間を確保する。

☑ 点呼の実施

- ・疲労、飲酒などで安全な運転ができないおそれがないか、業務開始前に点呼によって確認する。

☑ 荷役作業を行わせる場合

- ・運転者の身体負荷を減少させるため、必要な用具などを備えつける。

☑ 交通労働災害防止の意識高揚

- ・交通事故発生状況などを記載した交通安全情報マップを作成する。
- ・ポスターや標語を掲示して、安全について常に意識させる。

出典：厚生労働省「交通労働災害を防止するために」

☑ 教育の実施

以下を含め、雇入れ時などや日常の安全衛生教育を実施する。

- ・十分な睡眠時間の必要性の理解
- ・飲酒による運転への影響の理解
- ・交通危険予知訓練による安全確保
- ・交通安全情報マップによる実態把握

☑ その他

- ・交通労働災害防止のための管理者を選任し、目標を定める。
- ・運転者に対し、健康診断や面接指導などの健康管理を行う。
- ・異常気象や天災の場合、安全の確保のため走行中止、徐行運転や一時待機など、必要な指示を行う。
- ・自動車の走行前に自動車を点検し、必要に応じて補修を行う。



編集後記

皆さん、「たけのこ」って良く食べますか？これから旬で美味しい時期ですよ。GWあたりに実家に帰ると、必ずと言っていいほど、たけのこ料理が食卓に並びます。実は実家の裏が竹藪で、時期になると、毎日たけのこ掘りを手伝っていました。

たけのこは、あまり大きくなると硬くなってしまうので掘るタイミングが重要だと両親が言っていたのを覚えています。また、掘りたてのものが一番おいしく、時間が経つにつれてえぐみが増して味が落ちてしまうそうなので、すぐに食べない場合は、下処理(アク抜き)だけはしておいたほう

がいいですね。「たけのこ」は煮物や炊き込みごはん、天ぷら、炒め物など様々な料理がありますが、私のおすすめは、たけのこのフライです。1口サイズくらいにカットして、ころもを付け、フライにします。たけのこって和食っぽいイメージがありますが、フライにすると洋風になりソースやケチャップ、マヨネーズをつけて食べるととても美味しいです。ぜひ試してみてくださいね。

営業企画部 広報課 成澤



今号の表紙写真

21世紀の始まりと共に誕生したテクノパークも、今やレンサールディング構築に欠かせない拠点として成長。ICT施工やIoTへの対応など、建設現場がこれまでとは異次元の進化を求められている今、テクノパーク拠点に未来を創り上げていくのが急務ではないでしょうか。